

カンタータ第41番

Jesu, nun sei gepreiset

イエスよ、いまぞ讃美を受けたまえ

新年

聖句 書簡ガラテヤ 3,23-29

福音書ルカ 2,21

歌詞台本作者不詳

1. Chor

Jesu, nun sei gepreiset
Zu diesem neuen Jahr
Für dein Güt uns beweiset
In aller Not und G'fahr,
Daß wir haben erlebt
Die neu fröhliche Zeit,
Die voller Gnaden schwebet
Und ewger Seligkeit;
Daß wir in guter Stille
Das alt Jahr habn erfüllet.
Wir wolln uns dir ergeben
Itzund und immerdar,
Behüt Leib, Seel und Leben
Hinfort durchs ganze Jahr!

2. Arie (Sopran)

Laß uns, 'o höchster Gott,
das Jahr vollbringen,
Damit das Ende so wie dessen Anfang sei.
Es stehe deine Hand uns bei,
Daß künftig bei des Jahres Schluß
Wir bei des Segens Überfluß
Wie itzt ein Halleluja singen.

3. Rezitativ (Alt)

Ach! deine Hand, dein Segen muß allein
das A und O, der Anfang und das Ende sein.
Das Leben trägest du in deiner Hand,
und unsre Tage sind bei dir geschrieben;
dein Auge steht auf Stadt und Land;
du zählst unser Wohl
und kennest unser Leiden,
ach! gib von beiden,
was deine Weisheit will,
worzu dich dein Erbarmen angetrieben.

4. Arie (Tenor)

Woferne du den edlen Frieden
vor unsern Leib und Stand beschieden,
so laß der Seele doch dein selig machend Wort.
Wenn uns dies Heil begegnet,
so sind wir hier gesegnet
und Auserwählte dort!

1. 合唱

イエスよ、今こそ讃美を受けたまえ
この新しき年にあたって
全ての苦しみと危険の中で、
あなたの慈しみがわれらに示されるその年に、
われらが体験する
新たなよろこびの時を、
豊かな恵みと
永遠の幸福が漂うその時を。
われらはすばらしき静寂のなかで
古き年を成し終えた。
われらはあなたに身を捧げます
今そしていつまでも、
身体と魂と生命をお守りください
この後、一年を通して！

[ヨハン・ヘルマン作の新年用コラール
(1593)の第1節]

2. アリア (ソプラノ)

おお、至高なる神よ、
この年をわれらが無事に過ごせますように、
この年の終りがその始まりと同じでありますように。
あなたの御手をわれらの傍らに置いてください、
これからの年の終りに
われらが祝福に満ち溢れて
今と同様にハレルヤを歌えますように。

3. レツィタティーフ (アルト)

ああ、あなたの御手、あなたの祝福だけが、
アルファーでありオメガ、初であり終わりでありますように。
あなたはその生涯を御手で支えられ、
われらの日々はあなたのご計画によってなされています。
あなたの目は町にも田舎にも(いたるところに)注がれています。
あなたはわれらの幸の価値を認め、
われらそれぞれの苦しみをご存知です。
ああ、あなたの英知によって
その両方を正しく配分して下さい、
そのためにこそ、あなたの哀れみが発揮されるのです。

4. アリア (テノール)

あなたが貴い平和を
われらの身体と立場に分け与えてくださるのなら、
魂にもあなたの幸いなるお言葉を給わりませ。
われらがこのような救いに出会うなら、
われらはこの地では祝福され、
かの地では選ばれた者となるのです。

5. Rezitativ (Baß) und Chor

Doch weil der Feind bei Tag und Nacht
zu unserm Schaden wacht
und unsre Ruhe will verstören,
so wollest du, o Herre Gott, erhören,
wenn wir in heiliger Gemeinde beten:
Den Satan unter unsre Füße treten.
So bleiben wir zu deinem Ruhm
dein auserwähltes Eigentum
und können auch nach Kreuz und Leiden
zur Herrlichkeit von hinnen scheiden.

6. Chor

Dein ist allein die Ehre,
Dein ist allein der Ruhm;
Geduld im Kreuz uns lehre,
Regier all unser Tun,
Bis wir fröhlich abscheiden
Ins ewig Himmelreich,
Zu wahren Fried und Freude,
Den Heiligen Gottes gleich.
Indes machs mit uns allen
Nach deinem Wohlgefallen:
Solchs singet heut ohn Scherzen
Die christgläubige Schar
Und wünscht mit Mund und Herzen
Ein seligs neues Jahr.

5. レツィタティーフ (バス)と合唱

だが敵は昼も夜も
われらに危害を加えようと見張っていて
われらの安らぎを乱そうとしています、
だから、おお、主なる神よ、お聞き下さい、
われらが聖なる宗徒の中で、
「サタンをわれらの足下に踏みつけよ」※と祈るのを。
そうすればわれらはあなたの誉れのために
あなたの選ばれた信者でありつづけ
十字架と受難の後に
この世から栄光へと去ることができるのです。

7. 合唱

栄光はあなただけのもの、
誉はあなただけのもの。
十字架における忍耐はわれらを教え、
われらの行いの全てを統治します、
われらが喜んで去りゆき
永遠の天国に入り、
真の平安と喜びを
聖なる神と同じように得るまで。
われらすべてを
あなたの御心のままになさるまで。
そのことを今日戯れでなく(真剣に)
キリストを信ずる群れは歌い
口と心をもって(全身全霊で)願います
幸せな新しい年をお与え下さい。

[ヨハン・ヘルマン作の新年用コラール
(1593)の最終節]

※連禱(マルティン・ルター、1528/29)より